

平成30年度企画提案型協働事業 各提案の審査経過及び委員会意見

	提案事業概要 【名称（回数）、団体、内容】	アイデア審査 ／公開審査会 (8/17)	最終審査 ／公開審査会 (10/5)	積算金額 協働部署
1	訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座（1）	可 (可7,否2)	適 (適9,否1)	633,100円 高齢者福祉課
	こむnetちば			
	訪問傾聴ワーカーの人材を養成するため、高齢者へのボランティア等に必要な知識を学ぶ講座を開催する。			
2	武西の里山 保全と調査事業（2）	—	適 (適9,否0)	497,000円 環境保全課
	NPO法人谷田武西の原っぱと森の会			
	市が所有し、生物多様性に富んだ貴重な自然環境が残る武西地区の里山を対象に、環境保全のモデル構築を目指し、保全事業、環境調査事業を実施する。			
3	イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業（2）	—	適 (適10,否0)	1,168,000円 農政課
	NPO法人里地里山保全ねっと			
	イノシシが生息しづらい環境をつくるため、谷津田周辺の耕作放棄地や荒れた里山の整備保全活動を行う。			
4	自主防災組織の活性化事業（2）	—	適 (適10,否0)	481,700円 防災課
	印西防災研究会			
	団体で作成した防災マニュアル等を活用し、印西市の自主防災組織の構成員に研修会等を実施するほか、新たに在宅避難マニュアルを策定する。			
5	【指定テーマ】 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	可 (可9,否0)	適 (適10,否0)	3,065,000円 都市整備課
	NPO法人エコネットちば			
	竹袋調整池と周辺地域において、四季の花植え、緑地の維持、植栽の管理、ごみ清掃を年間を通して実施し、豊かな景観維持と快適な環境保全を行う。			

※提案2～4 継続事業（最終審査のみ）

【提案1】 企画提案型協働事業 訪問傾聴（見守り隊）養成講座 平成30年度最終審査 委員会総合意見

- 1 時代のニーズに沿った、実現性のある企画提案として評価します。協力者を増やし、制度のすき間を埋める優れた取り組みとなるよう期待します。
- 2 市や関連団体と連携して、養成した人材が地域で活躍できる仕組みづくりを検討してください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

行政制度をカバーする事業として期待します！

- ・時代のニーズにあった事業であると思います。受講者の輪が広がることを期待します。
- ・地域や高齢者のニーズは十分ある。
- ・実現性のある計画だと思います。
- ・市の関係部内との連携も十分取られているようであるので、うまくゆくと思います。
- ・制度のすき間をうめる活動として先行事例（他地域のモデル）となるようすすめて下さい。
- ・行政の制度だけでカバー出来ないことが多くあると思う。活動を通じて賛同者、協力者を増やしてほしい。

講座受講者について

- ・講座受講者の参加について、印西市のどの地域を対象とされているかを明確にして下さい（初年度）
- ・立派なカリキュラムだと思いますが、受講される方達のメリットが少なすぎるような気がする。

担い手を増やす

- ・立ち上げ後、ボランティアが長続きするような工夫が必要だと思う。
- ・ご苦労が多い分野であるので、近隣の活動団体とも連携してほしい。

講座終了後の方策を具体的に描いてほしい

- ・養成講座終了後のスキーム・システムを早いうちに構築して下さい。
- ・実施後の訪問傾聴ワーカーの具体的な活動方法を明確にしてください。
- ・将来構想についてももう少し具体的に描いて下さい。必要性は非常にあると思います。
- ・人材の育成は重要ですが、人材の活用が明確でないと効果が十分発揮できません。2～3年目のありたい姿の明確化と、それに向けた1～3年のロードマップを描いて、活動を推進してください。

- ・講座修了者が速やかに地域での活動を行うことができるよう、本事業と並行して諸問題の整理・解消を計画的に進めて下さい。
- ・個人情報保護法等懸念される課題について、具体的対策が先送りされている。今後の課題としたまま事業のみ進めるのは不安がある。

平成30年度企画提案型協働事業（アイデア審査）
「訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座」
提案に関する委員会付帯意見

- 1 講座のコンセプトを明確化したうえで、活動目的をよく理解した受講者が集まる方策を検討してください。
- 2 協働事業の役割分担や他の主体との連携はもとより、受講者の将来の具体的な活動の場も視野に入れて、市との協議を進めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

ニーズを把握した提案

- ・制度と当事者をつなぐ役割として有効な事業だと思います。行政の持ち得る情報を上手く活用しながら協働することを期待します。
- ・傾聴については生活に支障ある方にとって効果があり、社会的ニーズもあると思料されます。ただし実施に際しては、民生委員についても守秘義務が担保されているのにも関わらず、個人情報漏れ等トラブルがあると拝聞しています。受講者の選択、プライバシー保護の担保について有効な対策を用意しないと円滑に運用できない可能性があります。

養成講座の実施について 参加者集めが大事！！

- ・ボランティア候補者がどの程度いるか？その情報収集をどのように行うか？明確なビジョンがないと人が集まらないということにならないか？
- ・訪問傾聴ワーカーの掘り起こしの具体的な提案があれば良かった。
- ・講座参加者の募集（人集め広報）。
- ・養成講座の受講者の集め方、受講した人が活躍できる出口をきちんとつくっていただくことを期待します。

終了後の展望 活動計画と体制とリスク管理をより具体的に！

- ・個人情報の取扱いや管理等、運営体制を構築してマネジメントをきちんとしてほしいです。
- ・高齢化が進み、ボランティアの必要性は充分理解できるので、より具体的なシステムの充実を図ってほしい。
- ・活動メンバーにつなげる方策（講座だけに終わらせない）。
- ・印西市全体の活動に拡張していくための方策等も示してほしい。
- ・受講後の受講者の活動内容が不明瞭。クレームが発生した時の最終責任はどこになるのか。民生委員は無償であるのに対し今回のボランティアは有償と言っているが、そのバランスをどう確保するのか。
- ・地域社会としての課題は理解できます。養成講座終了後は、どのような活動計画を行うのか具体的に示してください。
- ・最終審査に入る前までに、“養成した「見守り隊」のメンバーに、その後どのような枠組み（立場）（組織）で活動してもらうのか”、を明確にしておくことが、事業の継続性の効果を発揮するための要点と感じます。講座の開催に留まらず、その後の活動の体制づくりの具体策までご提案ください。
- ・養成した「見守り隊」のメンバーが、活動に取り組むに当たって、どのような組織体制、市としての組織設計を整えるべきかを、市の担当部局と検討をしたうえで、最終審査に臨んでください。

- ・養成の展望。年間何人を育て、どの程度継続するか。育てた人の活動の場づくりについての考え方を明確にしてほしい。
- ・講座を通して多くの人が傾聴ワーカーとして活動できるよう、体制を整えるよう期待します。

市と団体の役割と他の機関との連携も検討

- ・市内にはほかに傾聴ボランティアをしているところがありますか？あれば協力していくことも検討してください。
- ・行政だけではできない仲間を増やすこと。
- ・市との協働事業としての各々の役割分担をどう考えるかを示してほしい。
- ・市及び民生委員との提携を深めていくことが必要。

【提案2】企画提案型協働事業 武西の里山 保全と調査事業 平成30年度最終審査 委員会総合意見

- 1 印西市における里山保全活動のあり方を考える上で重要な事業であると評価します。協働の新たなモデルケースとして、市の積極的な関わりとともに、幅広い成果の活用と情報発信を期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

里山保全活動の成果の発信に期待！

- ・貴重な自然資産を守ることは大切。今後は情報公開や場所の案内等も進めてほしい。
- ・すばらしい保全・調査事業だと思います。調査結果に関する公的発表を是非やって下さい。
- ・成果はもう少し幅広い市民の間で共有すべきだと思います。
- ・環境保全と共に調査報告書の作成といったアカデミックな事業であると思います。市民への広報・周知を進めていただきたい。
- ・市民への環境教育に関する具体的計画はありますか？
- ・地域の貴重な自然資産の維持の活動は、大変な場面も多いと思いますが、末永く活動が継続されるよう願っております。
- ・成果の集大成として、里山を活用したイベントを行ってはどうか。
- ・すばらしい報告書ができていますので調査結果報告書を活用してほしい。報告会（フォーラムなど）されてみたらいかがでしょうか。

市の積極的な関わりを！

- ・市のメリットとしてあげられているモデルケースをどう活かしていくのか？
- ・「里山活動保全の手法」を市民にどう還元するのか、どう見せるのか、2年目以降、市と検討しながら実施していただきたい。
- ・「印西武西の里整備方針」があり、具体化の方向のようであるので、今後さらに連携を深めていただきたい。共同事業の効果出し期待。
- ・都市に隣接した里山のあるべき姿（印西市版）や里山保全の為の管理原則（ルール）等を構築していただきたいと思います。
- ・整備されている里山に市民がいつでも入り、やすらぎなど感じられる場所になるよう、市の計画を早めてほしい。

その他

- ・協働に関するコストバランスが良いと思いました。但し、研究費が計上されていない理由は何故でしょうか？
- ・なぜか自分達の自己満足で終わっているような気がします。

【提案3】

企画提案型協働事業

イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業

平成30年度最終審査 委員会総合意見

- 1 地域課題を的確に捉えた有意義な事業として評価します。今後は市や関連団体との連携を深め、実態調査など事業効果を高めるための取り組みを進めてください。
- 2 周知活動を通して地域住民との連携を進め、事業を継続する仕組みづくりを検討してください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

有益事業 効果測定について

- ・ 獣害対策と環境保全が結びついた有益な事業であると思います。
- ・ 今回の協働事業を実施することで目に見えた効果はあったのか。
- ・ イノシシの生息数の実態調査等、事業の効果測定の実施・報告をする仕組みを整えて下さい。今後の事業対象地の選定基準を整える際の参考になると思います。
- ・ イノシシの被害、減少など効果が検証できるまでに、時間がかかるとは思いますが、協働事業終了後、継続していくための仕組みを市と検討しながら進めてほしい。
- ・ 草刈りをしてはなぜかイタチゴッコのような気がしますが。

地域住民の安心 反応は？

- ・ 地区の人たちが安心して暮らせるよう、環境整備を引き続きよろしくをお願いします。
- ・ 住民の反応はどうか？一年間実施状況（推進）の結果の、住民の反応は…。

結果の広報等

- ・ 調査結果について、広く市民に周知・公開する機会をつくっていただきたい。
- ・ プレゼン資料に生物多様性の向上とあるが、どのように向上するか、ねらいと見通しはありますか。

市、関係団体との役割分担

- ・ 協働事業としての市の役割は具体的にありますか。
- ・ 関連団体・市との連携を含め、継続期待。

【提案4】 企画提案型協働事業 自主防災組織の活性化事業 平成30年度最終審査 委員会総合意見

- 1 社会課題を的確に捉えた、市との協働にふさわしい事業であると評価します。市と密接に連携を図りながら、取り組むべき多くの課題を整理し、計画的に事業が展開されるよう努めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

目標を明確に 成果出し期待

- ・協働事業2年目の提案として進展が見られ、それを反映した事業計画だと思えます。予定通り実施できるよう頑張ってください。
- ・自主防災組織連合会の新規立ち上げについて、是非実現させてほしいと思えます。
- ・2年度目は結果を求められます。防災会ができない事由を調べ、対策を考えていくことが大切だと思えます。メンバーの問題、資金の問題、関心を持ってもらうことが色々あります。
- ・より具体的な目に見える目標を掲げてほしい。
- ・事業の主な目的が啓発活動とありますが、成果が不明瞭になりはしないか。

関係先との連携

- ・地域住民の実態把握が難しい中でのチャレンジですので大いに期待します。印西市以外の地域のモデルになることを期待します。
- ・骨の折れる活動である。近隣市町村での活動団体との連携を深めていただければ。
- ・事業ボリュームが大きいようですが、新しいマニュアルの内容も必要な情報だと思えますので、他組織とも連携しながらすすめてください。
- ・民生委員とはどのように連携するのか？

ターゲットとアプローチを絞り込み 方法

- ・戸建住宅と管理組合を有するマンションでは防災に対応する状況が異なるが、どのようにアプローチしていくのか。
- ・市全域の現状調査と、良い方向へ向けるための問題をはっきりさせる活動は必要かと思えます。活動のターゲットを絞るべきではないでしょうか。

市との連携共同

- ・自主防災組織の実態課題について、団体と市が情報を共有することで、他の関連事業にも効果が波及することを期待しています。
- ・市も積極的に連携を取ってほしい。
- ・協働事業としての市の役割と、実行計画を明確にする必要があるように感じます。

その他／広報等

- ・調査内容やマニュアル等、広報、共有が重要と思われます。インターネット等で検索できるだけでも利用価値が高まるので市のHPと連動できないか？
- ・大地震等が近い将来予想され、必要な事業であると思ひます。経費の人件費と無償労働の区分がわかりづらひと思ひます。

【提案 5】

企画提案型協働事業 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業 平成30年度最終審査 委員会総合意見

- 1 景観保全によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。活動の継続を見据え、後継者の育成に取り組むとともに、市との役割分担を明確化し、市民の憩いの場を継続するための発展的な方策を検討してください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

活動評価、激励

- ・地域にしっかり根付いた活動だと思います。
- ・大変かと思います。頑張ってください。
- ・トイレのメンテは大変だと思いますが、しっかりお願いします。
- ・トイレ設置は良い。
- ・蓮の花が減少し、雑草が池内に増えている。
- ・周囲は手入れが良いが池内には課題があります。

後継者育成

- ・継続が必要なので、後継者の育成が課題であると思います。
- ・担い手が増えるような広報活動も頑張ってください。

市・関連団体と連携、役割分担

- ・調整池の市と市民団体の適切な役割分担がはかられていると感じます。
- ・課題については是非市と相談されて、できる所から解決していただきたいと思います。
- ・調整池の機能維持と周辺地域の環境整備が円滑に実施されるよう、団体と市担当部局との意見交換、情報交換を定期的にも実施して下さい。
- ・調整池を公園のように。調整池活用の一つのケースだと思います。

平成30年度企画提案型協働事業（アイデア審査）
「竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業」
提案に関する委員会付帯意見

- 1 より多くの市民に末永く親しまれる施設になるよう、担当課と検討を進めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

広く市民に親しまれる施設としてのPR整備（駐車場等も！！）

- ・きれいに整備された場所としてもっと利用されるよう、PR、イベントが開かれると良いと思います。もったいない。
- ・日頃の活動に敬意を表します。より多くの市民に訪れてもらえるような周知をしていただきたい。
- ・場所を見つけるのが大変です。わかりやすい案内板を設置してはどうか。
- ・駐車場が無いので、どうしても地域事業の色合が強くなってしまう。もっと広域に広めていく方法を検討してはどうか。
- ・せっかくきれいに整備されているので、関係部署で調整されて、市民に広く親しまれる施設にされてはいかがでしょうか。

イベント等も

- ・コスモスまつり以外のイベントをする予定はありますか？地域の人を対象としたイベントの実施も検討してみたいでしょうか。
- ・長年のノウハウの蓄積があり、成果をあげておられる。（整備が行き届いている）

市との協業（目標・課題の共有）

- ・気象や生物等、自然を対象とした管理事業ですので、団体と担当部局が定期的に打ち合わせの場をつくり、現状確認と課題抽出、解決策の立案ができるように、良好な環境の維持に努めてください。
- ・印西市への質問です。公園ではない調整池のような施設に対して、市内全域でどのように整備を進めていくべきと考えているか？その中での竹袋の位置づけを明確にしてほしい。
- ・維持管理の継続性は理解できるが、課題の達成時期、いつまでこの事業を継続できるのかを含めて次のステップを示してほしい。
- ・市の協働事業であるが、NPOとして市に期待することはあるか？

きれいな調整池 継続期待 スタッフ、活動要員

- ・スタッフの確保は心配ないか。
- ・美しくきれいな調整池が期待されています。活動される方の高齢化等の問題もあるかと思いますが、ぜひ維持していただきたいと思います。